

## 総評

国語・数学がたいへん難しく、それ以外の教科は標準からやや易しめの問題でした。

中1のはじめに学習した内容は、3年間の学習の中ではほんの一部ですが、受験に向けての学習を積み上げるための土台ともいえるべき重要な内容です。小さなミスも見のがさず、間違えた原因をよく考え、しっかり復習しておきましょう。

道コンのようなテストは、高校に合格できるかどうかを予測するためのものではなく、目標に対する現在の自分の位置を確認するためのものです。どんな目標も、これからの学習次第では、近づいたり、遠のいたりします。結果がよくても安心せず、結果が悪くてもあきらめずに、目標をはっきりさせて学習を進めてください。

## 国語

非常に難しい出題でした。

㊦は、問二(6)の得点率が低かったです。㊧は、「五択から全て選ぶ」問題である問五の得点率が低くなりました。最新の入試でも、このような問題が二題出題されているため、内容を正確に理解する力が求められます。㊨は、記述問題を中心に、得点率が低くなりました。問五は、「和平」の人柄を読み取る際に、47行目の「憤怒の顔」から「怒りっぽい」と読み取った人が多かったのです。しかし、「初めて見せた憤怒の顔」とあることから、「怒りっぽい」は当てはまりません。そのため、登場人物の人柄を読み取る際には、文章の一部からではなく、文章の全体から読み取る必要があります。㊩は、全体的に得点率が低くなりました。文法についての問題も得点率が低かったため、よく確認しておきましょう。

## 数学

非常に難しい出題でした。正負の数の計算では、累乗の計算や、四則計算の順序の誤りが目立ちました。計算は、自分で見て確認できるよう整理して書きましょう。

①は、計算以外も非常に重要です。間違えた問題はしっかり復習しましょう。②は、表のきまり（試合ごとに勝ったチームと負けたチームが同数できることなど）が十分に理解できなかった人が多いようです。

③は、正負の数の性質やきまりに関する応用問題です。解説を読み、問題の意味をよく考えて、もう一度挑戦してみましょう。

文字の式の分野は、これから学習する「方程式」の基礎となる内容です。④問1のような、数量を表す式を書く技術は、特に重要です。速さ、割合、代金など、たくさん問題に取り組み、表し方を身につけましょう。

## 社会

標準的な出題でした。

地理分野では、計算が必要な資料問題の得点率が低くなりました。また、④問2の気候に関する問題では、(2)の冷帯(亜寒帯)と(3)の寒帯を逆に書いている答案が多く見られました。気候については、雨温図の判別も大切ですが、それぞれの特徴を、ポイントとなる語句とともに覚えておくことも大切です。

歴史分野では、⑥問4(1)でインダス文明の場所を間違えた答案が多く見られました。入試では歴史でも場所を問う問題が出題されるので、間違えた人は地図で場所を確認しておきましょう。また、⑧問3の記述問題では、「東アジアの情勢」をふまえていない解答が多く見られました。解答を作成したあとは、書かなければいけない要素をすべて満たしているかどうか確認しましょう。

## 理科

やや易の難易度の出題でした。

今回は基本的な内容が多く出題されていました。間違えたところの他に、すぐに答えが分からなかったところや、悩んだところも、しっかりと教科書などで復習して、今のうちに確実に身につけておきましょう。

語句を答える問題や、知識中心の問題はよくできていましたが、計算問題や、実験や観察の結果をもとにして思考するものなど、思考力や応用力が必要とされるような問題は得点率が低くなるものがあったようです。

これらの問題の対策はくり返し演習をかさねることが重要です。暗記だけでは高い得点をとることはできません。学習した内容が多くない今の時期に取り組んでおくと、優位に立つことができます。後回しにせず早くから始めておくことが大切です。

## 英語

やや易しい難易度の出題でした。

今回の試験は出題範囲がせまく、内容が限られていたため、易しく感じた人が多いかもしれません。

①のリスニングの問題はよくできていました。イラスト問題や英文選択の問題にも、しっかりと解答できていた印象です。対照的に、②以降では取りこぼしが目立ちました。特に、英語のきまりにまだ慣れていないことによって、大文字・小文字や符号などのミス、英単語のスペルミスが非常に多く見られました。

今後は、英単語や英文をひとつひとつ丁寧に書いたり読んだりすることを意識して学習しましょう。2学期から学年末にかけて、英語は少しずつ難しくなります。間違えた問題があった人は学習内容が少ない今のうちに復習しましょう。